

局・区実施プランにおける市民自治の取組状況

(1)平成26年度に実施した、自治基本条例の具体化に向け取り組んだ事業数は560事業であり、局・区実施プランにおける市民自治の取組は確実に定着している。

(2)平成26年度の各事業における市民自治の取組数（情報共有、市民参加等）は、延べ1,280と過去最大の規模。最も多いのは3割以上を占める「情報共有」、次いで「市民参加」「地域のまちづくり」「市民活動促進」であり、同様の傾向が続いている。

(3)「情報共有」は、平成26年度実績において延べ41,276回、うち参加や登録等の積極的な手法により情報を受け取った人数は371,514人であった。実施回数ベースで比較すると、出前講座や説明会など市民と対面して情報提供をする機会が最も多く、延べ30,868回、272,345人に対して行われた。

(4)「市民参加」は、平成26年度実績において延べ10,143回と、平成25年度より回数減となったものの、何らかの手法で市民参加をした延べ人数は215,636人と増加している。市民スタッフの参加は、実施回数は昨年比大幅減となったものの手法別では最も多い回数であり、参加人数も増加している。参加等人数別では、アンケートやモニター制度への参加が最も多い。

(単位：件)

Table with columns: 年度, 事業数, 情報共有, 市民参加, 市民活動促進, 子どものまちづくり, 地域のまちづくり, 職員に関する取組, その他, 計. Rows include H26 (実績) through H19 (実績).

※「-」は項目がなかったため未集計、()内は区役所の項目数を示す。
※1つの取組で複数の目的を担う場合があり、重複してカウントしている。
※「その他」には、第16条（行政運営の基本）、他の自治体との連携・協力等（第30条）等に関する取組がある。

《「情報共有」手法別 実績》

Table showing 'Information Sharing Methods' with columns for method, unit, H25, and H26. Includes categories like '広報さっぽろ', 'ポスター、パンフレット等', etc.

※ホームページへの掲載等、回数のカウントが難しい項目については除く。

Summary table for information sharing: '何らかの手法で情報共有等を行った延べ回数' (34,209 to 41,276) and '積極的に参加や登録により情報を受け取った延べ人数' (258,156 to 371,514).

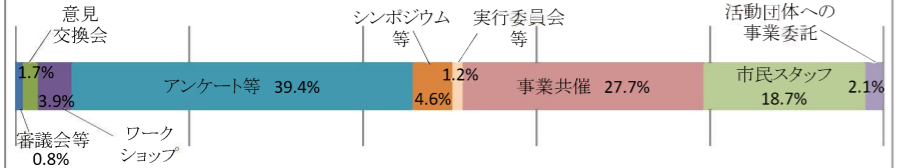
提供回数別にみた情報共有手法割合



実施回数別にみた市民参加手法割合



参加等人数別にみた市民参加手法割合



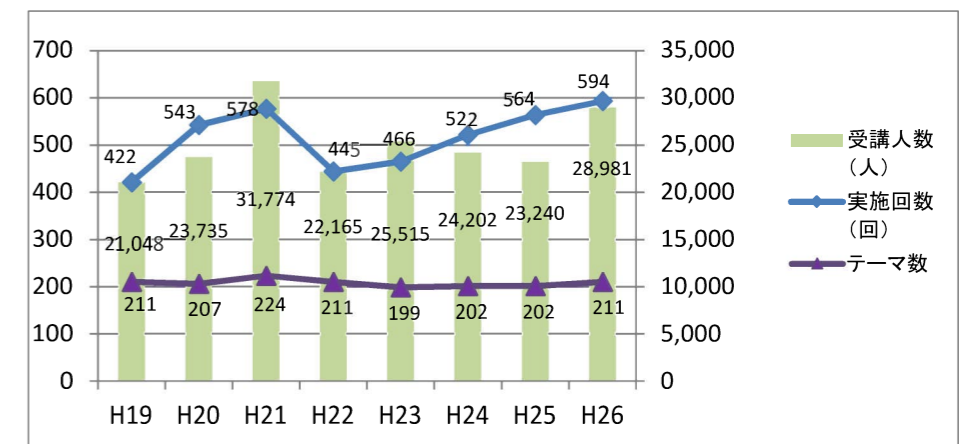
《「市民参加」手法別 実績》

Table showing 'Citizen Participation Methods' with columns for method, unit, H25, and H26. Includes categories like '意見公募、パブリックコメント', '審議会、協議会、委員会等', etc.

Summary table for citizen participation: '何らかの手法で市民参加を行った延べ回数' (15,531 to 10,143) and '何らかの手法で市民参加した延べ人数' (172,049 to 215,636).

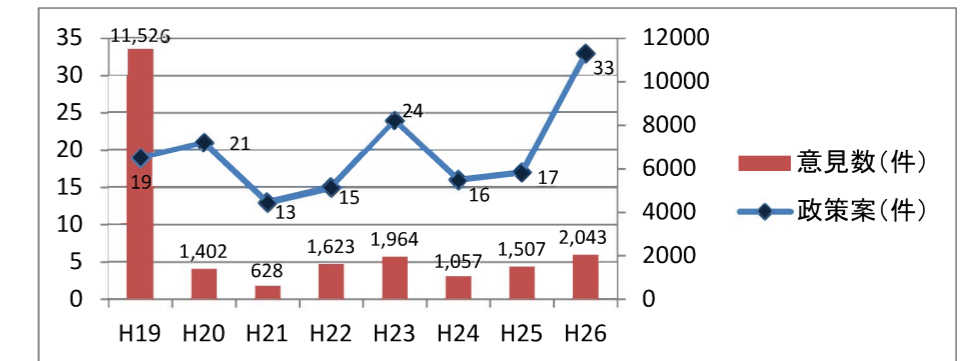
出前講座の実施状況

○出前講座の実施回数は500回前後、受講人数は2万人台で推移しており、市民に定着した取組となっている。



パブリックコメントの実施状況

○パブリックコメントの手続きを実施する政策案件数は10～30件台を推移、それに対する意見数もおおむね1,000件台を推移しており、制度についての市民周知は着実に進んでいるものと考えられる。



※19年度は、「スリムシティさっぽろ計画(素案)」について市民意見交換会等での意見数を加えているため、意見数が多い。
※26年度は、表記の意見数のほか、子どもから3,545件の意見があった(札幌市パブリックコメント手続きに関する要綱に基づかないもの)。